

8. 常設部会、委員会及び専門委員会等

8-1 対外活動部会

1. 対外活動部会の構成

本部会は、大本部会長、福岡副部会長、高橋副部会長、多田副会長のほか、会員理事で構成され、関連組織として対外活動委員会(発注者別 WG 含む)、白書委員会および広報戦略委員会を設置し、機動的な活動を展開した。

2. 設立の目的と活動の成果

本部会は、建設コンサルタントの社会的地位の向上を目的とし、発注機関との意見交換会、関連情報の整理・発信、ならびに関係組織との協働を推進している。

対外活動委員会では、昭和 59 年より、協会の最重要活動として、実態調査に基づくデータや各支部の意見を反映した「要望と提案」を軸に、発注機関との意見交換を実施している。これらの取り組みにより、安定的な事業量の確保による会員の経営基盤の改善、将来の担い手の確保・育成、働き方改革の推進、さらには生産性・技術力・品質の向上に着実な成果を収めている。また、報酬体系の継続的改善、技術力に基づく選定の促進、就業環境改善に寄与する納期平準化の促進、および建設コンサルタントの役割拡大など、多方面にわたる進展を実現した。

白書委員会では、「建設コンサルタント白書」を通じて、様々な視点から幅広く関連情報を発信し、広報戦略委員会では、一般市民を対象とした建設コンサルタントの魅力を伝える幅広い広報活動を推進することで、建設コンサルタントの認知度および社会的地位の向上に寄与した。

3. 主な活動の記録

(1) 令和 7 年度 要望と提案および建設コンサルタント白書の編集

対外活動委員会および白書委員会において、令和 6 年秋に編集作業を開始した。令和 7 年 1 月の対外活動部会、全国 9 支部との意見交換会、

ならびに常任理事会での審議を経て、令和 7 年度「要望と提案」【説明資料】【資料集】を 6 月末に完成させた。また、「建設コンサルタント白書」は同年 8 月末に刊行した。

(2) 令和 7 年度意見交換会の開催

国土交通本省をはじめ、全国 10 の地方ブロック、高速道路会社 4 社、国土技術政策総合研究所・土木研究所、水資源機構との間で意見交換会を実施した。開催実績は以下の通りである。

7月10日	： 中国ブロック
7月24日	： 北海道ブロック
8月07日	： 九州ブロック
8月20日	： 四国ブロック
8月28日	： 東北ブロック
9月02日	： 近畿ブロック
9月25日	： 北陸ブロック
10月03日	： 関東ブロック
10月09日	： 中部ブロック
2月03日	： 沖縄ブロック
11月27日	： 中日本高速道路株式会社
12月04日	： 東日本高速道路株式会社
12月09日	： 西日本高速道路株式会社
12月04日	： 首都高速道路株式会社
12月05日	： 国総研・土研
12月23日	： 水資源機構
11月14日	： 国土交通本省（道路局）
2月06日	： 国土交通本省（技監等）

(3) 令和 7 年度対外活動部会の開催

令和 8 年 1 月 8 日に開催し、次年度（令和 8 年度）に向けた意見交換会および関連委員会の活動方針等を討議した。

(4) 令和 7 年度本部・支部意見交換会の開催

令和 8 年 3 月に Web 会議方式にて全支部と意見交換を実施し、地域課題の共有と本部施策への反映を図った。

4. 次年度の活動

引き続き「要望と提案」および「建設コンサルタント白書」を充実させ、発注者や各支部等との意見交換、戦略的な広報活動を通じて、協会の認知度向上と会員サービスの一層の拡充を目指す。

（対外活動部会部会長 大本 修）